≪巻頭言≫

グローバルな「環境の学び」の成果

城西国際大学 環境社会学部長
倉　林　眞砂斗

今日、我々人類は、地球温暖化の進行や人為による種の減少、外来生物等による生物多様性の危機、水と食糧の安全で安心な供給の確保など、一国のみでの解決能力を超えたグローバルな取り組みを必要とする地球規模の環境問題に直面している。

最近では、中国の北京市街を中心とした大気汚染の深刻化により、汚染原因である自動車排気ガスや工場等からの煤塵に含まれる微小粒子状物質（PM2.5）の健康への影響が懸念されており、汚染の影響は中国国内にとどまらず、大気の移動により近隣国の我が国にも及ぶなど、対岸視できない課題を惹起している。

グローバル化する時代の中で、環境に係る問題はますます複層化し、多角的な視点と対応力が求められている。併せて、ローカルな活動を通して、確かな実践力と課題解決力に磨きをかけ、成果を出していくことが必要である。

環境社会部では、海外姉妹大学との連携によるグローバルな視点に立った環境の学び、房総の豊かな自然を活かした農業・園芸に関する実践的なカリキュラム、企業・自治体・地域社会などとの連携による多角的な「環境のまなび」を通して、「自然と共生する持続可能な社会」の構築にリーダーシップを発揮し、社会に貢献できるグローバル環境人材の育成を目指している。

このような本学部の教育理念と目標に基づき、自然科学、人文科学の学問領域を越えた文理融合の学際的な領域分野である「環境社会学」の研究を深化させるため、『城西国際大学 環境社会学部紀要』を刊行している。今後、本学部の研究成果が、環境への負荷の少ない持続可能な社会の形成に寄与していくことを期待したい。